

1. 学校の概要、目標及び計画

(1) 学校名・校長名・所在地

学校名 学校法人九州美容専門学校

校長 加藤 稔子

所在地 熊本県熊本市中央区南坪井町10-28

(2) 本校の沿革

大正 9年		美容研究所 開設
大正14年	4月	東洋美容術研究所 開設
昭和 3年	10月	熊本美髪女学校 開校
昭和23年	3月	厚生大臣（林謙治）指定取得
昭和24年	4月	北千反畑町から菓園町へ新築・移転
昭和25年	8月	九州高等美容学校に校名変更
昭和45年	11月	厚生大臣指定取得（内田常雄）県知事（寺本広作）
昭和47年	3年	設置者変更 県知事（沢田一精）
昭和60年	5月	専修学校認可取得 県知事（細川護熙）
平成10年	4月	指定申請取得（美容学校2年制度） 厚生大臣（小泉純一郎）
平成16年	4月	専修学校九州美容専門学校に校名変更 県知事（潮谷義子）
平成13年	3月	専門士称号取得 文部科学大臣より（町村信孝）
平成24年	2月	法人化により 学校法人九州美容専門学校にて運営開始
平成28年	2月	文部科学大臣認定 「職業実践教育課程」 認定

(3) 教育目標

学校教育法及び美容師法に基づき、美容師としての専門的知識・技能の育成を図ると共に、社会人としての豊かな教養や態度を身につけ、社会人として心身共に健康な美容師の育成を目指す。

そこで、目指す生徒像は以下のようにする。

手にはスキル・頭には理論・心にはおもいやり

- ① 手にはスキル：探求心を持ち、謙虚に誠実に努力を重ね、美容師として高い技能や技術を身につけた生徒
- ② 頭には理論：科学的な知識や安全・安心に対する知識を習得し、これらを基本に創意工夫する生徒
- ③ 心には思いやり：周囲の人やものに対し、相手の立場に立って考え、行動できる生徒

(4) 教育指導計画

○2年間の就学期間が充実し、自己の夢や希望の実現を図るため4つコースを設定し、意図的計画的な教育課程編成・実施を行う。

（ 教育課程編成の基本 ）

- ① 美容師として必要な基礎的・基本的知識や技能の定着により、在学中に国家資格の取得を図る。
- ② より広い教養と豊かな国際感覚を持ち、社会人としての人格の陶冶を目指す。
- ③ 体験・経験活動を重視し、実践的な態度やコミュニケーション能力の育成を図る。

(本校在学中の取得資格)

- ① 美容師国家試験受験資格 美容師免許取得 (国家資格)
- ② サービス接客検定 3 級 (文部科学省後援)
- ③ A・F・T 色彩検定 3 級 (文部科学省後援)
- ④ 日本ネイリスト協会 (JNA) ネイリスト技能検定 3 級・2 級 (内閣総理大臣認定)
- ⑤ 日本ネイリスト協会 (JNA) ジェルネイル技能検定初級 (内閣総理大臣認定)
- ⑥ SHU UEMURA メイクアップディプロマ (日本ロレアル株式会社)
- ⑦ IMA メイク検定 準 A 級 (九州理容美容学校協会)
- ⑧ アシスタント・ブライダルプランナー 2 級検定 (全米ブライダルコンサルタント協会)
- ⑨ 山野流装着付初伝・中伝・奥伝許状 (一般財団協会 国際美容協会)
- ⑩ 一般社団法人日本まつ毛エクステンション協会 (JLA) Jr アイデザイナー検定

2. 学科等の教育

(1) 本校の特色

創立 97 年を誇る本校は、常に時代の要請に応じ、変化発展を図ってきた。

本校は確かな力量と豊かな人間性を持った美容師の育成に向けて、確実な基礎基本の積み上げを基に、専門性の高いトップスタイリストコース・メイクネイルコース・ブライダルスタイリストコース・アイラッシュデザイナーコースの 4 つのコースを持つ美容専門学校として現在に至っている。生徒は、自己の個性や能力、将来の自立に向けてコース選択を行っている。

このような着実な歩みを継続した 95 年の時は、幅広い美容フィールドで活躍できる 4 万人もの人材を輩出してきた。その人材は現在全国で活躍しており、「歴史と伝統が築き上げた人とのつながり」が今日の本校を築き上げたといっても過言ではない。

また、本校の特色の一つに、多くの協会の認定校として認められたことが挙げられる。このことは、在学中に資格を取得するという目標の達成に向けて学生のモチベーションを高め、就職の有利さにつながっている。

二つめの特色は、企業との提携により実践的な授業を提供していることである。実体験を通して、職業意識や職業観を高めることによって、美容師の夢の実現に向けた教育課程の工夫も行っている。

これらは、学生生活の活性化を図り、意図的・目的的に努力する意思や意欲を養うことにつながっている。

(2) 教育課程及び年間授業時間

教育課程及び時間数

必修課目 (各コース共通)

課 目 単位・時間数			第 1 学年				第 2 学年			
必修課目 47 単位 1,410 時間以上										
	単位数	時間	第1学期	第2学期	第3学期	計	第1学期	第2学期	第3学期	計
関係法規・制度	1	30	12	12	6	30				
衛生管理	3	90	12	12	6	30	30	30		60
美容保健	4	120	24	24	12	60	30	30		60
美容の物理・化学	3	90	24	24	12	60	15	15		30
美容文化論	3	90	24	24	12	60	15	15		30
美容技術理論	4	120	24	24	12	60	30	30		60
美容運営管理	2	60	12	12	6	30	15	15		30
美容実習 <small>(企業との連携による実習を含む)</small>	27	810	180	180	60	420	150	150	90	390
必修課目合計	47 単位	1,410 時間	312	312	126	750	285	285	90	660

コース別選択課目

① トップスタイリストコース

(企業との連携のある課目は企業との協議により課目及び時間数を随時決定することとする)

課 目 単位・時間数			第 1 学年				第 2 学年			
選 択 課 目 20 単位 600 時間以上										
	単位数	時間	第1学期	第2学期	第3学期	計	第1学期	第2学期	第3学期	計
カラー・コーディネート	1	30		30		30				
サービスマナー	1	30		30		30				
ヘア・アレンジ	2	60			60	60				
パーマ	1	30	30			30				
カラー	1	30	30			30				
パーマ・カラー	4	120					60	60		120
カット	5	150					60	90		150
サロンシミュレーション	2	60			30	30			30	30
美容総合技術	3	90		30		30	30		30	60
選択課目合計	20 単位	600 時間	60	90	90	240	150	150	60	360
総 合 計	67 単位	2,010時 間	372	402	216	990	435	435	150	1,020

② メイク・ネイルコース

(企業との連携のある科目は企業との協議により科目及び時間数を随時決定することとする)

課 目 単位・時間数			第 1 学年				第 2 学年			
選 択 課 目			20 単位				600 時間以上			
	単位数	時間	第1学期	第2学期	第3学期	計	第1学期	第2学期	第3学期	計
カラー・コーディネート	1	30		30		30				
サービスマナー	1	30		30		30				
ヘア・アレンジ	2	60			60	60				
パーマ	1	30	30			30				
カラー	1	30	30			30				
ネイル	4	120					60	60		120
メイク	5	150					60	90		150
サロンシミュレーション	2	60			30	30			30	30
美容総合技術	3	90		30		30	30		30	60
選択科目合計	20 単位	600 時間	60	90	90	240	150	150	60	360
総 合 計	67 単位	2, 010 時 間	372	402	216	990	435	435	150	1,020

③ ブライダルコース

(企業との連携のある科目は企業との協議により科目及び時間数を随時決定することとする)

課 目 単位・時間数			第 1 学年				第 2 学年			
選 択 課 目			20 単位				600 時間以上			
	単位数	時間	第1学期	第2学期	第3学期	計	第1学期	第2学期	第3学期	計
カラー・コーディネート	1	30		30		30				
サービスマナー	1	30		30		30				
ヘア・アレンジ	2	60			60	60				
パーマ	1	30	30			30				
カラー	1	30	30			30				
着付け	4	120					60	60		120
ブライダル	5	150					60	90		150
サロンシミュレーション	2	60			30	30			30	30
美容総合技術	3	90		30		30	30		30	60
選択科目合計	20 単位	600 時間	60	90	90	240	150	150	60	360
総 合 計	67 単位	2, 010 時 間	372	402	216	990	435	435	150	1,020

④ アイラッシュデザイナーコース

(企業との連携のある科目は企業との協議により科目及び時間数を随時決定することとする)

課 目 単位・時間数			第 1 学年				第 2 学年			
選 択 課 目 20 単位 600 時間以上										
	単位数	時間	第1学期	第2学期	第3学期	計	第1学期	第2学期	第3学期	計
カラー・コーディネート	1	30		30		30				
サービスマナー	1	30		30		30				
ヘア・アレンジ	2	60			60	60				
パーマ	1	30	30			30				
カラー	1	30	30			30				
ボディジュエリー	4	120					60	60		120
アイラッシュ	5	150					60	90		150
サロンシミュレーション	2	60			30	30			30	30
美容総合技術	3	90		30		30	30		30	60
選択科目合計	20 単位	600 時間	60	90	90	240	150	150	60	360
総 合 計	67 単位	2,010 時間	372	402	216	990	435	435	150	1,020

(3) 教職員

職 名	専 任	兼 任
校 長	1 名	
教 頭	1 名	
主 任	2 名	
教 員	6 名以上	8 名以上
事 務 員	1 名以上	

4. キャリア教育・実践的職業教育

(1) 方針

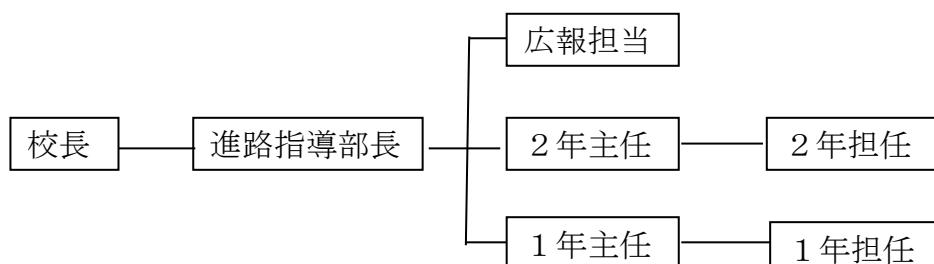
指 針	生徒の将来の自立に向けて、一人一人の状況や実態に応じた進路指導を行うためのきめ細かな支援及び援助が行えるシステムを構築する。
指導方針	① 進路指導委員会を組織し、常に生徒の相談に応じる進路指導体制の確立を図る。 ② 生徒の希望に応じた就職情報を提供し適切な進路指導に努める。 ③ サロン見学を積極的に行い、就職に向けた具体的イメージを作らせる。 ④ サロン見学については訪問時における基礎的マナーについての具体的詳細な指導を徹底する。
サロン訪問	①サロン訪問は、進路指導決定の重要な方策であることから、訪問サロンとの詳細な連絡調整及び、訪問生徒に対する具体的な指導の徹底を図る。 ※採用情報を取りまとめ、採用状況・サロン方針を把握する。 ※本校学生に対して、サロン訪問の意義及び具体的な対応の指導を図る。 ※サロンに対し、本学及び本校生徒についての情報を提供し、相互理解による効果的なサロン訪問の実施に努める。

(2) 進路指導年間計画

学年	月	指 導 内 容
1 年 次	5月	(社) 一生美容に恋する会 Image of myself ver 1
	6月 ~ 7月	学校にて企業就職説明会開催 (約 50 社) 放課後随時開催
	10月	進路希望調査 個別面談開始
	2月	就職レクチャー (株) セイファート 就職希望者進路相談開始
	2月	(社) 一生美容に恋する会 Image of myself ver 2
2 年 次	4月	進路希望調査の実施 進路相談開始 就職フェア参加 (福岡・大阪・東京等) 求人情報公開
	6月 ~ 7月	学校にて企業就職説明会開催 (約 50 社) 放課後随時開催 企業説明会・ヘアショー・デモスト 参加 履歴書・面接指導
	9月以降	就職未決定者個別指導 (随時実施)

(3) 進路指指導組織

※校長を中心とした組織的なきめ細かな対応を行う



(4) 平成 30 年度 本科卒業生及び進路

	卒業生数	進路状況			
		就職			その他
			県内	県外	
男	11	11	7	4	
女	40	37	22	15	
計	51	48	29	19	

(進路・・・美容室・エステサロン・アイラッシュサロン・ウエディング関係)

(5) 実践的職業教育取り組み状況

目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・現場で活躍する技術者の直接指導を受けることにより、最新の知識・技術・技能を学習し、仕事に対する理解を深めさせる。 ・連携企業でのインターンシップを通して、職場での多様な仕事内容や基本的知識・技能に裏付けられた応用力の必要性に気づかせる。 ・イベントに参加・企画・運営することで、自主的・自発的態度やコミュニケーション能力を身につけさせる。
インターンシップ	<ul style="list-style-type: none"> ・連携企業でのインターンシップを通して美容師の仕事内容の把握と理解を行い、学生自身の将来の美容師像の明確化就職意識の高揚を図る。 ・インターンシップは学生の評価項目に位置づけ、学生のモチベーションを高める。評価については、具体的評価項目を設定する。
ヘアカラー	<ul style="list-style-type: none"> ・JHCA 加盟サロン 11 社のカラーリストによる、テクニック・講義を体験することにより、カラー技術・知識を学び、美容業界で働く事の期待値を高め、今後の学習のステップアップを図る。
ジェルネイル	<ul style="list-style-type: none"> ・ネイルを健康の側面からとらえ、爪の健康を守るための正しい知識や技術の習得を図るとともに、知識・技能を証明する法的根拠としての検定資格の重要性・必要性の理解を図る。 ・ネイル業界が求める人材についての理解を深め、就業に向けたモチベーションを高める。 ・今後の学習と関連性を意識し、自己研鑽に努めさせる。 <p>仕事に対する具体的なイメージを持たせるとともに、職業意識を高揚させ、夢の実現に向けて今後の学校生活を意図的・目的的に努力する意思や意欲を養う。</p> <p>JNA（日本ネイリスト協会）認定講師によるジェルネイル講習会の開催</p>
学園祭	<p>学校の自習室をサロンに見立て、地域住民や保護者・高校生など学園祭を訪問した人たちに対し、サロンのおもてなしを行うスクールサロンの開催によって生徒の自主的・自発的態度や実践的能力の育成を図る。</p> <p>(実習室にお客様をお迎えして、カウンセリングからヘアセット・ネイルの施術、お見送りまでの体験を通して、相手の立場に立ったおもてなしを行う)</p> <p>ヘアショー企画・運営・実施（独自企画）</p>
ヘアショー	MUJ 熊本大会ファイナルステージのバックヤード参加

バックヤードの体験	(ミスユニバース熊本大会選手のヘアメイクバックヤードに入り、担当美容師のアシスタント・ヘルプを体験し、多様な美容師の活躍の場があることの理解のより高い技術の習得の必要性を再認識させ、日々の自己研鑽の意識づけとする。
-----------	---

6. 様々な教育活動・教育環境

(1) 美容師国家試験対策

美容師養成学校として、指導の最重点たる美容師国家試験の合格をめざしてこの実態に応じたきめ細かな指導に向け、以下の対策を講じている。

① 実技試験対策

技術進度別授業体制・・・生徒の技術の進度に合わせて個別指導を実施

チェックテストの実施・・・進度の度合いを確認し、指導方法の工夫改善を図るためチェックテストを行い、規定ラインへの到達を図っている。

規定ラインに届いていない学生に対しては、放課後補習を行う。

検定試験の実施・・・国家試験に準じた方式による校内検定試験を実施する。

また、実施後のフォローアップを行う。

② 学科試験対策

教科書とワークブックの併用と繰り返し指導により、理解度を高める。

授業進度に応じて国家試験過去問題による小テストを随時実施し、スモールステップによる定着を図る。

試験前には、グループ学習を行い、グループリーダーを中心とした課題解決を図らせる。

国家試験直前には、過去問題及びオリジナル問題を中心とした試験対策を行う。

③ 補習授業の実施

実技・学科ともに知識や技能の定着不十分な学生に対し補習授業を実施する。(1年次・2年次共)

(2) 各種資格取得の状況及び実績 (平成30年度)

資格・免許等の名称	合格者数	合格率
美容師国家試験 (両方)	71	95 %
美容師国家試験実技	77	95 %
美容師国家試験筆記	71	95 %
A・F・T色彩検定3級	51	82.2 %
A・F・T色彩検定2級	5	100 %
日本ネイリスト協会 ネイリスト技能検定3級	13	100 %
日本ネイリスト協会 ジェルネイル検定初級	13	100 %
IMAメイク検定 準A級	8	100 %
全米ブライダル協会 アシスタントブライダルプランナー検定2級	8	80 %
国際美容協会 山野流装着物着付初伝・中伝	28	100 %
国際美容協会 山野流装着物着付奥伝	13	100 %
日本まつ毛エクステンション協会 Jr アイデザイナー検定	10	100 %

(3) 美容関連各種大会への参加及び実績

美容関連各種大会の名称	結果
-------------	----

Regina Photo Competition	入賞
H&M ビューティー Photo Competition	入選
芸術祭全国着付けコンテスト 中伝の部	優秀賞
SASSOON SCHOOLSHIP STUDENT CUT CONTEST	全国大会出場

(4) その他専門的知識の向上に向けた指導

- ① SASSOON SCHOOLSHIP との提携による教育プログラム
- ② JHCA (日本ヘアカラー協会) 加入サロンによるカラー講習会
- ③ インターンシップによるサロンワーク経験 (実習制度)
- ④ MISS UNIVERSE JAPAN 熊本大会協賛 (バックヤード参加)

6. 学生の生活支援

日常支援

(1) 生徒指導

生徒指導は、担任及びサポート教員による2名体制で生徒指導を行っている。

- ① 年度当初に、全学生を対象に個人面談を実施し、生徒の動向把握に努めている。
- ② 出席不良 (遅刻・欠席)、成績不振の学生には、適宜面談を行い問題点の早期把握、改善に努める。

(2) 家庭との連携

- ① 保護者に対し、定期的に生徒の状況を報告する。
- ② 生徒指導上の問題等が発生した場合には、保護者を交えた三者面談を行い、学生の課題の早期発見・早期改善を図っている。

7. 学生納付金・就学支援

(1) 平成30年度 学生学納金

	1年次			2年次	
	合格時	前期	後期	前期	後期
入学金	70,000				
施設費	130,000			60,000	60,000
授業料		300,000	300,000	300,000	300,000
教育充実費		90,000	90,000	65,000	65,000
計	200,000	390,000	390,000	425,000	425,000
年間計	1年次合計 980,000円			2年次合計 850,000円	

※上記学納金に加え、教材費 (1年次 29万円、2年次 30万円) が必要になる。

(2) 就学支援

経済的理由により就学が困難な学生のため特待生制度、奨学金制度、教育ローン、報奨金制度等により経済的支援を行っている。

- ① 特待生制度
- ② 学費分納制度（日本学生支援機構奨学金を利用）
- ③ 九美報奨金制度・・・無遅刻、無欠席、成績優秀な学生を対象に報奨金を授与する。
- ④ 一人暮らし応援制度・・・本校に入学するために新たに一人暮らしを始める学生に就学と生活を支援する。
- ⑤ 日本学生支援機構
- ⑥ 日本政策金融公庫
- ⑦ オリコ学費サポートプラン
- ⑧ 九美 熊本地震就学救済制度（在校生・新入生）

8. 学校の財務

本校 HP にて情報公開

9. 学校評価

本校 HP にて情報公開

10. 国際連携の状況

サスーンスクールシップ教育プログラムとの提携（平成10年より現在に至る）

「サスーンスクールシップ教育プログラム」のヴィジョン・理念とは、サスーンの美容哲学に基づくカット技術教育のことである。

美容業界の将来は、次世代を担う若者達の教育にかかっているというサスーンの信念と教育哲学のもと始まったプログラムであり、美容学校在学中の吸収力旺盛な将来の美容師にこの世界で成功するために必要な想像力（クリエイティブティ）と高度な技術力を育む機会を与えることを終始一貫として目標とする

美容師としての腕を磨き、人間としての教養を高め、世界に通用する国際性豊かな美容師になること、すなわち「継続的な研鑽（トレーニング）による高い技術力の習得と人間性の向上」が教育プログラムのヴィジョンのことである。

このことは、本校が目指す教育と合致していることから、平成10年より本プログラムに参加し、基本的なヴィジョン・理念を忠実に守り実践し、高い技術力を得るチャンスとしている。

その機会の一つが、「サスーンスクールシップ スチューデントカットコンテスト」であり、校内コンテストを価値進んだ全国メンバー校の学生が一堂に会し、全国大会カットコンテスト・サスーンコレクションヘアショーを体験させている。

全国大会参加による過去の実績

平成23年度全国大会	（参加19校 215名中	6位入賞 1名）
平成25年度全国大会	（参加17校 221名中	6位入賞 2名）
平成27年度全国大会	（参加17校 227名中	6位入賞 1名）
平成28年度全国大会	（参加17校 222名中	6位入賞 1名）